

本資料のうち、枠囲みの内容は、営業秘密又は防護上の観点から公開できません。

TK-1 - 388 改0

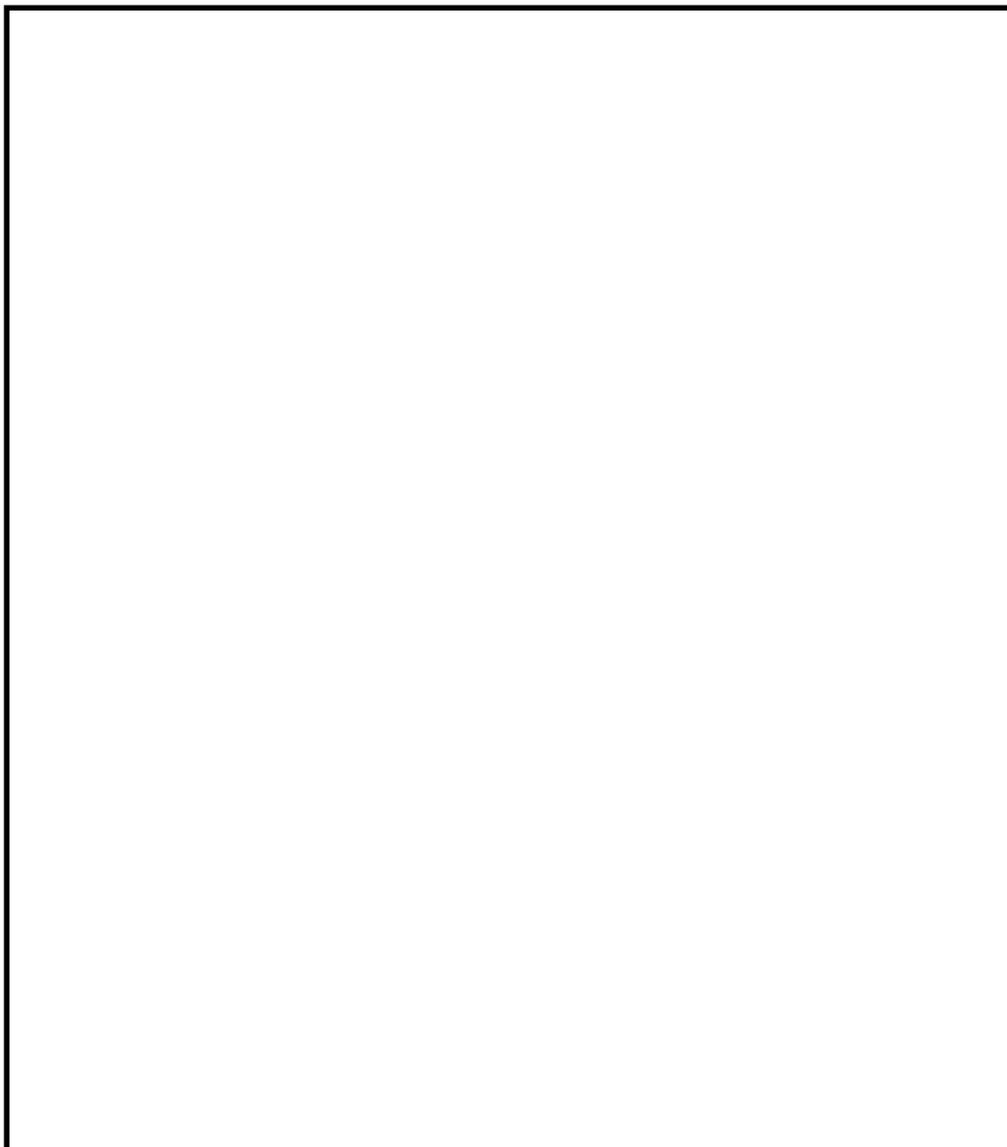
H30.4.23

止水板の適用性

内部溢水で検討している止水板については、敦賀発電所2号機に既に設置されている止水性を確認した脱着可能な津波浸水防止堰（以下「既存堰」という。）の構造を採用することで計画している。

「既存堰状況」

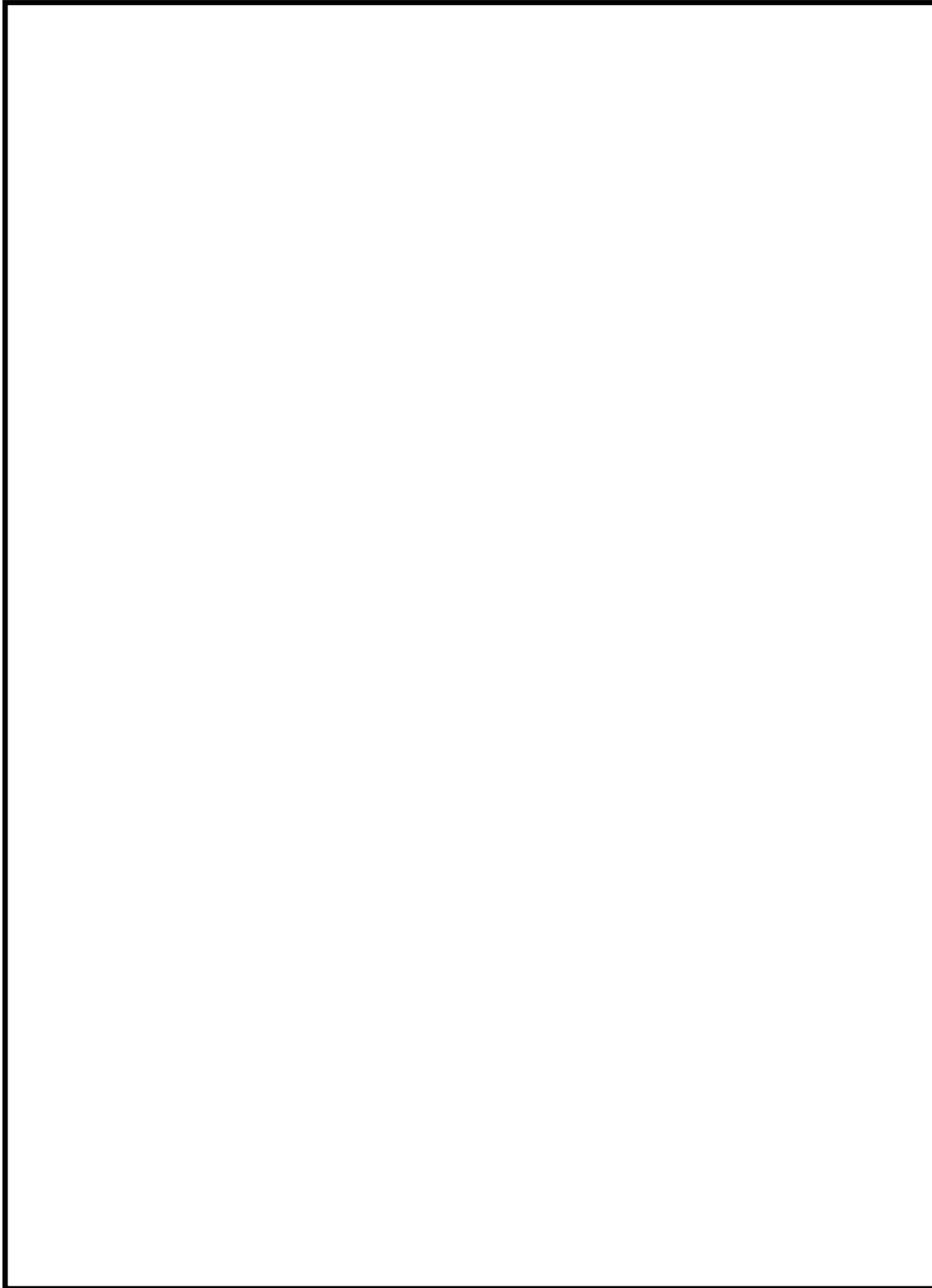
- 設置位置：開口部周辺，建屋境界部等に38か所設置済
- 堰高さ：60mm～300mm
- 構造：鋼板製で構成され，脱着式の堰を端部コーナー部の支持部に設置し，取付ボルト及びアンカーボルト固定する構造である。
- 止水性：堰下部の止水ゴム，端部・コーナー部レールと堰及び堰と堰のジョイント部の止水ゴムは，モックアップにより漏水の無い事を確認した基準値よりも止水ゴムの密着させることで止水性を確保させる。



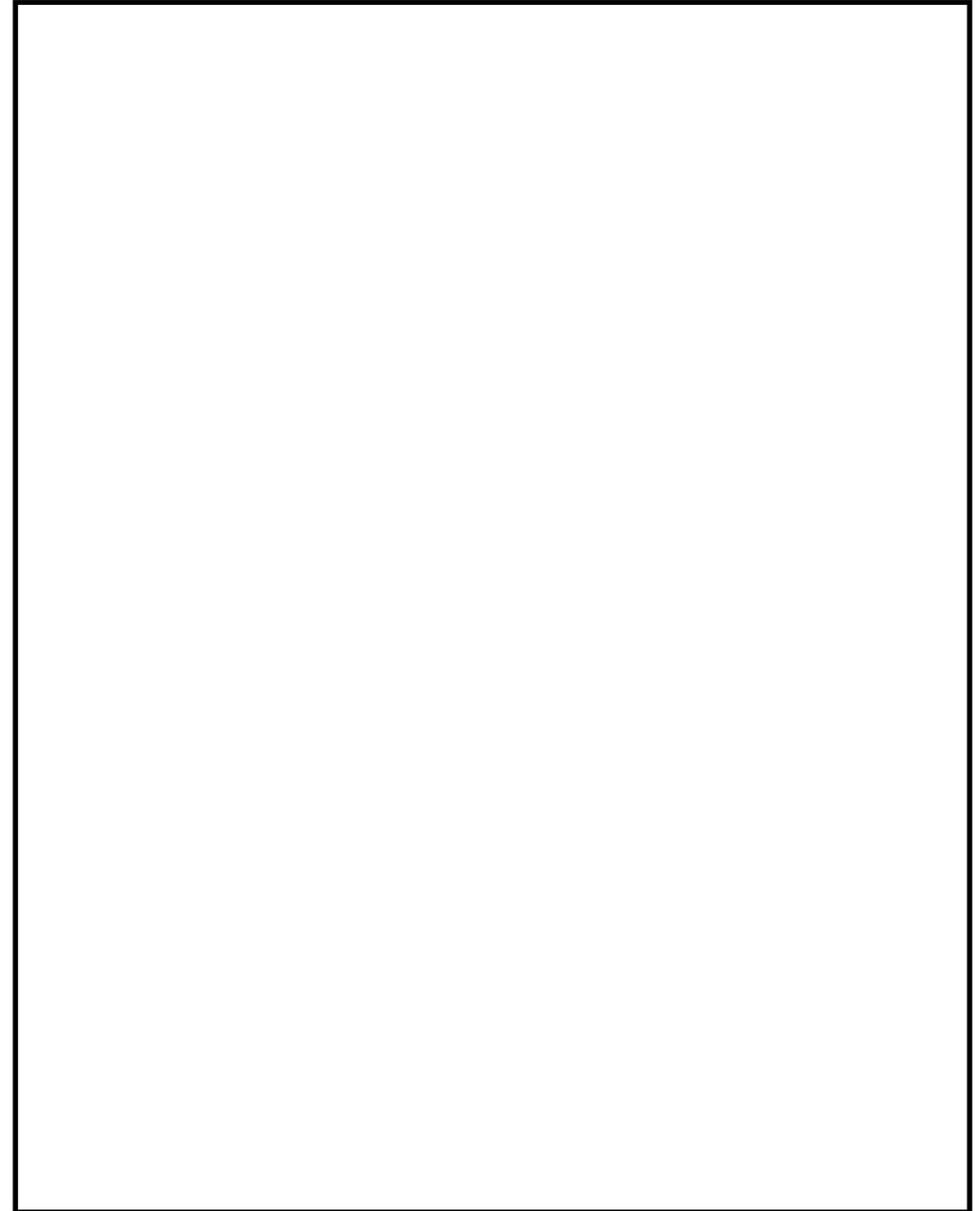
【構造図】

○止水性能状況

- ・試験水位 300 mm
- ・保持時間 60 分



[写真]



以上